

# 試験問題 I

2026 年度 酪農学研究科 修士課程 第 1 期入学試験問題

(選択： 地球環境保全学 ) 受験番号： \_\_\_\_\_

本試験問題は、「試験問題 I」と「試験問題 II」からなっています。これらのいずれかを選択し、その中の全ての設問に回答しなさい。I と II の中から任意の設問を選択して回答することはできません。

次の問題 1~4 について答えよ。なお、問題文の最後にキーワードがある場合は、それらのキーワードを用いても用いなくとも良い。

問題 1. 陸域生態系における炭素の蓄積量は、植物体と土壌とで比較するとどうか。また、土壌の中では深さにより、何によってどのように変わるか、それぞれ説明せよ。(キーワード：土壌有機物、炭素濃度)

問題 2. 土壌有機物中に見られる主要な生体分子について、物質名とその特徴を挙げながら概説せよ。(キーワード：植物細胞壁、難分解性、微生物体)

問題 3. 森林などの陸域生態系土壌の物理的環境において、リターや土壌有機物が特に土壌の水分環境および土壌構造に与える影響について説明せよ。(キーワード：リター直下、硬度)

問題 4. 土壌有機物が植物の養分供給源となるのはどのようなプロセスを経てか。窒素を例に詳しく解説せよ。(キーワード：無機態窒素、吸収)

## 試験問題Ⅱ

2026年度 酪農学研究科 修士課程 第1期入学試験問題

(選択： 地球環境保全学 ) 受験番号： \_\_\_\_\_

本試験問題は、「試験問題Ⅰ」と「試験問題Ⅱ」からなっています。これらのいずれかを選択し、その中の全ての設問に回答しなさい。ⅠとⅡの中から任意の設問を選択して回答することはできません。

次の問題1～4について答えよ。

問題1. 地球温暖化問題の概要と、IPCCの第6次評価報告書で公表されている科学的知見を述べよ。

問題2. 環境省の「モニタリングサイト1000 第4期とりまとめ報告書概要版」において、生態系における気候変動の影響として見られている自然の変化・異変の事例をいくつか述べよ。

問題3. 公共用水域において問題視となっている有機フッ素化合物(PFAS)による環境汚染について、該当物質や発生源、有害性や対策(規制)について解説せよ。

問題4. マイクロプラスチックを含むプラスチック汚染の排出源とその自然環境への影響について、解説せよ。